

【緑で結ぶ心の輪】



Vol.68 (平成27年12月)

埼玉グリーンアドバイザーの会 広報委員会

〒336-0035 さいたま市南区松本 2-1-13 柴田園芸刃物㈱内 事務局

TEL: 048-864-2311/FAX:048-864-2355

事務局メールアドレス

s-ga0329@s-greenadviser.org

埼玉GAの会ホームページ

s-greenadviser.org

【平成27年度通常総会のお知らせ】

平成27年度の通常総会の日程がきました。

- 日時 : 平成28年2月6日(土) 午後2時～午後6時
- 会場 : 浦和コミュニティセンター(コムナーレ) 10階 第14集会室
交通 JR浦和駅東口徒歩2分
住所 さいたま市浦和区東高砂町11番1号
電話 048-887-6565

●行事予定

- 受付開始 : 午後1時30分
- 総会開始 : 午後2時
- 記念講演 : 午後3時～4時30分
- 懇親会 : 午後5時～6時30分

*ご予定をいただき一人でも多くの会員皆様のご出席をお待ちしています。

【記念講演のお知らせ！】

『日比谷公園から園芸福祉まで』

講師：進士 五十八先生（元東京農業大学学長、農学博士）

卒業論文のテーマに日比谷を取り上げ、その後もずっと日比谷公園を見つめてこられた。

公園の生い立ち、成り立ちの歴史、現在の状況、そして将来についてのお話が伺えます。そして、園芸福祉の意義と展開についてまでお話は広がっていきます。

プロフィール

日本造園学会会長、日本都市計画学会会長、日本学術会議環境学委員長などを歴任。現在は、長野県、横浜市、川崎市、新宿区などの環境または景観審議会会長、NPO法人美し国づくり協会理事長、日本園芸福祉普及協会会長、国際バラとガーデニングショウの審査委員長などで活躍中。

2007年に紫綬褒章、2015年は第9回みどりの学術賞など多くの受賞があります。



- 参加費 埼玉GAの会会員は無料 一般参加者：¥1,000
- 定員 60名（定員になり次第締切させていただきます）

【研修報告】 『園芸 誰も話さないここだけの話 IV』

日 時：平成 27 年 10 月 14 日（水）18:30～20:00

場 所：浦和コミュニティセンター（コムナーレ） 第6集会室

講 師：望田明利氏（グリーンアドバイザー・園芸ソムリエ）

参加人数 17 名

今回で 4 回目となった研修は「病害虫などよもやま話」と銘打って始まった。最近の園芸業界に激震が走った話で RHS 日本支部の解散や種苗メーカー売却のなど、本題に入る前に啞然とする話もありました。



本題は①残留農薬基準の変更 ②侵入病害虫 ③食品に係るリスク認識アンケートについての話。

①残留農薬基準の変更は従来の一〇日摂取許容量(ADI)から急性参照容量(ARfD)を重視した基準に変更された。欧米では 10 年前から採用されていたが、日本では昨年度から採用され昨年 10 月に多くの薬剤がマイナスの登録となった。アセフェート剤(オルトラン、ジェイエース、スミフェート) カルボスルファン剤(ガゼット、アドバンテージ) ベンフラカルブ剤(オンコル)が縮小や使用できなくなる事がおきた

②侵入病害虫については今年 8 月 19 日に北海道でジャガイモシロシストセンチュウが日本で初めて見つかったニュースや特殊報一覧表により 2015 年 1 月から 8 月まで 31 件もの病害虫が発生している事の話。世界中から入る病害虫を防ぐ事が難しくなっている。

③食品に係るリスク認識アンケートについて、これは(1)健康への影響に気を付けるべきと考える項目(19 項目) (2)ガンの原因になると考える項目(23 項目) で一般消費者ネット調査(3600 人) 食品安全の専門家(食品安全委員会専門委員 161 名)が回答した内容で、(1) 健康への影響に気を付けるべきと考える項目の 1 位は両者とも病原性微生物(0157 等)で、2 位は消費者では農薬の残留ですが、専門家はタバコ、3 位では



消費者は食品添加物に対し専門家は偏食や過食でした。(2)ガンの原因になると考える項目の 1 位は消費者も専門家もタバコですが、2 位以降では消費者と専門家ではだいぶ違いがあります。専門家は 2 位・加齢、3 位・飲酒、4 位・偏食や過食、5 位・病原性微生物(ウイルス、細菌)

消費者は 2 位・食品添加物、3 位・大気汚染・公害、4 位・加齢、5 位・偏食や過食でした。それぞれの結果を見ると認識の違いがはっきりします。とても参考になる資料でした。また毎回新しい情報を取り入れることが出来ることに感謝する内容でした。

(中緒 知和子)

【柳下 和之氏（園芸研究家）のコラム 第23回目】

ムラサキケマン

綺麗な花には毒がある。

必ずしも綺麗だから毒があると言うわけではありませんが、毒草には不思議な魅力がある種類も多くあるように思います。

有毒植物として有名なトリカブトの花は切り花用に生産されることも多く、最近夫の毒殺に利用しようとした事で注目されたトウゴマもイングリッシュガーデンにはよく利用され、カラーリーフプランツや切枝としても愛でられています。

ムラサキケマンも繊細な葉を茂らせながら特徴的な赤紫色の花を咲かせる姿は園芸植物のような美しさがあり魅力的なのですが・・・。

茎をちぎると悪臭があり、食べようと思う人は少ないと思います。

野に咲いているのを眺める程度がこの植物と付き合う適度な距離感なのかもしれません。

そんな花は綺麗だけど悪臭があって毒があるムラサキケマンを好んで食べる虫がいます。ウスバシロチョウの幼虫がそうで、ムラサキケマンの有毒成分を逆に利用して、毒を体内に取り入れて天敵から捕食されない為の防御手段として利用しています。

他人の毒を利用するのはなにも人間だけではないと言う事でしょう、まあ人間の方が狡猾で陰湿な気がします、それはある意味知恵が回るからなのだと思います。

同じ仲間であまり姿が似ているエゾエンゴサクは有毒成分が無く青紫色の花を咲かせ、悪臭も無く、食用として利用されているので混同しないように注意しましょう



【2016日本フラワー&ガーデンショウ開催決定】



平成28年4月22日（金）～4月24日（日） パシフィコ横浜展示ホールB

【お悔やみ申し上げます！】

11月13日に、広報担当理事の宮田はつ美さん（享年52歳）がご逝去されました。

平成16年度に理事に就任されてからは、平成19年、GA埼玉10周年記念事業で、日本フラワー&ガーデンショウに出展した時は、地元の鴻巣花きとの協力で埼玉の植物紹介の企画を実施、平成20年、さいたま新都心10周年記念「日本園芸フェスティバル」では多肉植物タペストリーの講習会の講師、平成22年、社団法人日本家庭園芸普及協会の園芸セミナー「花ある暮らしを楽しもう」in埼玉でのパネルディスカッションのパネラーなど、数多くの活動をされました。

本年度は、西武ドームや日比谷ハンギングバスケットコンテストへの出品、幕張での日本F&Gショウでは初めてのこともあり出品が懸念されたミニガーデンコンテストに参加、秩父両神村のダリア園見学研修会では参加者の移動のための車の運転を、池袋サンシャインでの日本ダリア展の白を基調としたガーデン展示と、多くの場面で活躍されていました。

植物の生産や作品作りのためにいろいろと勉強することがあり、時間を見つけて研修会やコンテストに参加しているとの言葉が、元気いっぱいの笑顔と共に忘れられません。

早すぎるご逝去に悔しさと寂しさを覚えつつ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌

埼玉グリーンアドバイザーの会

会長 杉浦啓泰

【編集後記】

早いもので、平成27年も最後のカレンダーを残すのみとなりました。

年の瀬は、年末挨拶や私事も含めて何かと慌ただしいですが、会員の皆様もお忙しい日々を送られていることと思います。

今号は、新年度に向けての研修企画や総会後の特別講演などの準備も何とかまとまってきましたので、27年度総会の企画を中心に紙面をまとめました。

「来年こそは！」と相変わらず反省しきりの今日この頃ですが！

フィギュアスケートの羽生結弦選手が12月13日に優勝後の言葉で「前は想像以上の出来だったが、今回はそれ以上の結果を確実に出すために辛い練習もした・・・」とありました！

来年は、結果を出すための努力をしないとイケないですね！

新しいアイデアやご意見などございましたら積極的ご提案ください！お待ちしております。



1月の花

